

2021年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
プロフェッショナルダンス1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	野中志乃			実務 経験	無	職種	教員				
授業概要											
この科目では修了公演、イベント出演に伴うリハーサル、場当たり出演、本番などを通してダンスの技術はもちろんコンディション作り、スケジューリングやコミュニケーション力などを学びます。											
到達目標											
この科目ではHIPHOP、OLD SCHOOL、HOUSE、JAZZ、バレエ、コンテンポラリーの各ジャンルの理解度を深め実演するとともにプロダンサーとしてのメンタリティー、マナーを学びます。											
授業方法											
実技を中心としたリハーサルおよびコミュニケーションアップの為のディスカッション、照明知識や舞台用語の知識などの習得を行います。振り入れから構成、場当たりから本番まで作品作りを実践的に学びます。											
成績評価方法											
平常点 100% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
担当講師の指示に従い振付けや構成の確認をして臨む事、怪我や病気の予防、スケジューリングなどの自己管理をしっかりする事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	担当講師の決定、イベント主旨、制作スケジュールを理解する										
第2回	実習班ごとにHIPHOPの振付を確認する										
第3回	実習班ごとにHIPHOPの立ち位置・構成を理解する										
第4回	実習班ごとにHIPHOPのソロパートを含む演目全体の確認を行う										
第5回	実習班ごとにHOUSEの振付を確認する										
第6回	実習班ごとにHOUSEの立ち位置・構成を理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
プロフェッショナルダンス1	
第7回	実習班ごとにHOUSEのソロパートを含む演目全体の確認を行う
第8回	実習班ごとにOLD SCHOOLの振付を確認する
第9回	実習班ごとにOLD SCHOOLの立ち位置・構成を理解する
第10回	実習班ごとにOLD SCHOOLのソロパートを含む演目全体の確認を行う
第11回	実習班ごとにJAZZの振付を確認する
第12回	実習班ごとにJAZZの立ち位置・構成を理解する
第13回	実習班ごとにJAZZのソロパートを含む演目全体の確認を行う
第14回	実習班ごとにバレエの振付を確認する
第15回	実習班ごとにバレエの立ち位置・構成を理解する
第16回	実習班ごとにバレエのソロパートを含む演目全体の確認を行う
第17回	実習班ごとにコンテンポラリーの振付を確認する
第18回	実習班ごとにコンテンポラリーの立ち位置・構成を理解する
第19回	実習班ごとにコンテンポラリーのソロパートを含む演目全体の確認を行う
第20回	コレオグラフナンバーの振付けの確認を行う
第21回	コレオグラフナンバーの立ち位置・構成の確認を行う
第22回	HIPHOP/HOUSE/OLD SCHOOL 実際の会場の広さを確認し、立ち位置・動きの大きさを修正する
第23回	JAZZ/バレエ/コンテンポラリー 実際の会場の広さを確認し、立ち位置・動きの大きさを修正する
第24回	場当たりで修正されたポイントを中心に反復練習を行う
第25回	全体の構成を把握し、最後まで通して踊りきれるようにする
第26回	前回の修正点を把握し、会場リハに向けてミスなく踊りきれるようにする
第27回	通しリハーサルで修正されたポイントを中心に反復練習を行う

2021年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
プロフェッショナルダンス1	
第28回	照明をつけ、構成・踊りに支障をきたさないよう会場全体の広さをとらえて踊る
第29回	会場全体の広さ・照明・衣装着替えを実際に行い、本番のスピード感を把握する
第30回	実践演習で得た技術・作品を発表する